

会員限定

2019年3月度
金融システム研究会
2019年3月6日(水)

金融機関に求められる セキュリティと他業種連携について

講師：守井 浩司

株式会社レオンテクノロジー 代表取締役社長

 金財情報システム「金融システム研究会」事務局

CONTENTS

目次

金融機関に求められるセキュリティと他業種連携について

Slide 1	SECURITY IS KEY TO GROWTH	4
Slide 2		6
Slide 3	数字で見る守井浩司	6
Slide 4	本日の AGENDA	8
Slide 5	金融機関にとってのセキュリティ脅威の現状	8
Slide 6	金融業界は変革の時期にあります	10
Slide 7	フィンテックの進展	10
Slide 8	フィンテックとは？	12
Slide 9	高まるセキュリティの必要性	12
Slide 10	こんな事件自分には関係ないと思いませんか？	14
	<資料外デモ画面>	14
Slide 11	金融機関の皆様が取り組むべきセキュリティ課題とは？	14
Slide 12	本日はヒントを持ち帰っていただきたいと思います	16
Slide 13	レオンテクノロジーからのご提案	16
Slide 14	金融機関に対するレッドチームオペレーションから見えてくるウィークポイントの改善について	18
Slide 15	彼（攻撃者）を知り 己（自社の状態）を知れば百戦殆うからず	18
	ここで、「彼を知り己を知れば百戦殆うからず」。これ、孫子の言葉ですね。	18
Slide 16	まず『彼』について見てみましょう	20
Slide 17	メールからの侵入は最も手軽に、最高（最悪）の結果を求めやすい	20
Slide 18	次に『己』について見てみましょう	22
Slide 19	よくある金融機関のセキュリティ対策の現状	22
Slide 20	『己』を知るための内部侵入テストの活用	24
Slide 21	レッドチームオペレーションとは？	24
Slide 22	レッドチームで期待される効果	26
Slide 23	レッドチームの一般的なフロー	26
Slide 24		28
Slide 25	シナリオ例 その 1	28
Slide 26	シナリオ例 その 1 対策	30

Slide 27	シナリオ例 その2	30	
Slide 28	シナリオ例 その2 対策	32	
Slide 29		32	
Slide 30	Fintech 企業にとっての『彼』について知りましょう	34	
Slide 32	Fintech サーバを狙う理由	36	
Slide 33	Fintech サーバを攻撃者から守るための対策内容	36	
Slide 34	Slide 35	Fintech 企業が『己』を知るためには	38
Slide 36	まとめ	40	
◆	質疑応答	52	

こんにちは。どうも、ハッカーです。ハッハッハ……あ、このくだり、ウケなかったんで、もうやりません(笑)。

ということで、今日なんですけども、Fintechのお話を中心にさしていただければと思うんですけども、金融機関さまがお持ちのFintechの資産というものが直接狙われるのではなくて、連携先を通じて狙われるよというシナリオの下でお話をさしていただければと思います。

じゃ、早速もう資料のほうに入らしていただきまして、後半、いわゆるOSINTという諜報ツールを使った、公開してはいたつもりの資産をどのようにハッカーたちが知ることかというところのデモンストレーションと、時間が空きましたら、もし挙手いただけましたら、私、デモハッキングという、そのシステムやサーバに侵害することなくハッキングをしますよというところをちょっとウリにさしていただいているので、もし、いいよ、やっていいよという方がいらっしゃったら、挙手と、お名刺をいただければ、OSINTを使って資産を取得して、どこかのサーバに侵入をするデモなどをさしていただければと思うんですけども……いなかったら挙手は大丈夫です。

ということで、ちょっとすぐに進めていけたらなと思います。

では、早速いきます。

Slide 1 SECURITY IS KEY TO GROWTH

「SECURITY IS KEY TO GROWTH」ということで、「セキュリティ、大事ですよ」ということをキャッチフレーズに、レオンテクノロジーは日々、業務をさしていただいております。



金融機関に求められるセキュリティと 他業種連携について

株式会社レオンテクノロジー
守 井 浩 司

COPYRIGHT © 2019, LEON TECHNOLOGY, INC. ALL RIGHTS RESERVED.

Slide 1



SECURITY IS KEY TO GROWTH

Slide 2

スライドの3枚目になるんですけども、ちょっと調子乗ってすいません。これは、この前、報道ステーションに出さしていただいたときの資料になります。

セキュリティの意識だったり重要性が高まるにつれて、ぼくみたいなちょっと得体の知れない者も、テレビに出てくれというような形でお声がけいただいて、出さしていただいたもので、ここでは、国家ぐるみのいわゆる誘導だったりとか煽動ということのお話をさしていただいたんですけども、大部分がカットされておりまして、はい、非常に残念なお話になってたって感じですね。

京都出身です。今、37歳で、今年38歳になります、ということで、現在もホワイトハッカーとして現場で第一線で、セキュリティ診断と、いわゆるフォレンジックという事故調査を中心に活動さしていただいております。最近、後任のホワイトハッカーの育成ということで、育成事業だったりとか、メディアに対応さしていただいたりとか、ということで啓蒙活動をさしていただいております。

Slide 3 数字で見る守井浩司

「数字で見る守井浩司」ということで、一応185cm、106kgあります。1日に1.5リットル以上のコーラ、消費します。もう、コーラ、1.5リットル以上飲んできた状態です。「1診断あたりのレッドブル」と書いてあるんですけども、フォレンジック1件だったりとか1診断あたり5缶ぐらいレッドブル消費するんですけど、今、ここ(演壇上)にある4缶、後でプレゼントしますので、欲しい方は言うてください。さっき1缶、消費してきました。翼生えた状態ですね(笑)。

ということで、一応キャリア的にはIT業、プログラマースタートなんですけども、高校2年からキャリアスタートさしていただいております。現在21年目に突入したということと、夜間帯緊急対応出動回数ということで、これは去年の実績なんですけども、やれ事故を起こしたとか、やれシステムの挙動がおかしいよということで、緊急で呼びつけられたりとか、緊急の診断を実施さしていただいた緊急出動の回数で、ほぼ夜間です。ほぼ夜間というか、もうほぼ深夜帯なんです。一応24時間、電話に出るようにしております。朝の2時だろうが4時だろうが、普通に電話に出てお客さまの元に駆けつけるということが48日間ありました、ということで、はい、そんな感じになっ

とります。

「報道ステーション」 2018年9月25日（火）放送

代表取締役社長
守井 浩司/Koji Morii

1981年、京都府生まれ。株式会社レオンテクノロジー2005年3月設立。
各種サイバーセキュリティ事業を展開。自身も現場の最前線にて活動を続ける傍ら、ホワイトハッカー育成やサイバーセキュリティの第一人者として、各種取材や講演活動を通じて、セキュリティに関する啓蒙活動に注力。



SELF-INTRODUCTION
数字で見る守井浩司

身長・体重	コーラの消費量	1診断あたりの レッドブル消費数
 185cm/106kg	 1.5リットル/日 <small>※自称コーラマイスター</small>	 5缶(350mlのロング缶)
エンジニアとして 働き始めた年数	夜間帯緊急対応回数	
21 年目	Max48 日/年 <small>フォレンジック対応 緊急インシデント対応</small>	

Slide 4 本日の AGENDA

「本日の AGENDA」です。

お手元の資料にもございますように、金融機関さまにとってのセキュリティ脅威の現状というところを、まず Chapter1 でお伝えできればと思うとります。Chapter2 で、レッドチームオペレーションということで、これを実施させていただきました金融機関さまの下で、ウィークポイントの改善についてご指摘をさせていただきました。そのお話を少しさせていただければと思います。

第3部で、Fintech その他で、他業種との連携を行う際の懸念すべき内容ということで、こちらがメインになっておりまして、最後、まとめという形になっております。

本セミナーですけれども、1時間、紙の資料を実施させていただきまして、休憩を挟みまして、後半がデモンストレーションという形になっておりまして、本日はハッキングがメインではなくて、OSINT という、世の中に転がっている、だれでも Google で検索すれば、「OSINT」というキーワードを打ち込めば取得できるツールを使って、どのような情報が見え隠れし、公開してないつもりの資産をどのように取得するのかというところを中心に、お話と、デモンストレーションできれば思っております。

Slide 5 金融機関にとってのセキュリティ脅威の現状

じゃ、早速、「金融機関にとってのセキュリティ脅威の現状」ということで、ここからは少しええ声でお届けできれば思っております……ウケなかったんで、普通の声でいきます(笑)。